

江戸文化講座 第1回 江戸のファッション

太田記念美術館は、開館30周年を記念して、特別講座「江戸文化講座」を開講します。この講座では、浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げて、さまざまな分野の専門家から江戸文化について学びます。

第1回のテーマは〈江戸のファッション〉。化粧や髪型、衣装などから当時の江戸の女性たちの好みを探ります。

5/8(土)第一講

赤・白・黒 江戸美人の化粧事情

江戸時代の化粧は、未婚、既婚、また身分や階級で違っていました。江戸時代後期の女性たちがどのような化粧をしていたのか。赤(紅)、白(白粉)、黒(お歯黒・眉作り)を中心に、化粧品、化粧道具などを通して美人の化粧事情を探ります。

5/15(土)第二講

贅沢は敵?! 江戸時代の髪型と髪飾り

江戸時代に大きく花開いたいわゆる日本髪。男性の髪型の模倣から、女性独自の髪型へ。主流になった四つの髷。技巧を駆使した巻と髷。その黒髪の美しさを引き立てた数々の髪飾り。憧れはやっばり高価な鬘甲でした。女心と職人の遊び心が見えてきます。

5/22(土)第三講

検証 衣裳の柄と小物たち

江戸時代の着物や帯の柄って、どんなものが描かれている? 浮世絵に描かれた女性たちの衣裳の柄と、身につけていた懐紙入れ、箱迫、煙草入れ、お守りなど見過ごされやすいものに着目してみましょう。当時の女性たちの好み、ファッションを垣間見ることができます。

講師

村田 孝子 (ポーラ文化研究所 研究員)

東京生まれ。青山学院大学文学部教育学科卒。ポーラ文化研究所研究員。主に日本と西洋の化粧・結髪史を調査し、セミナー講演、展覧会、著作などで発表。『眉の文化史』『モダン化粧史』『日本の化粧』共著(ポーラ文化研究所)『結うこころー日本髪的美しさとその型』編著(ポーラ文化研究所)『江戸時代館』『明治時代館』化粧部門担当 『江戸三〇〇年の女性美』青幻舎 執筆 『江戸文化の見方』角川学芸出版 共著

日 程 2010年5月8日(土), 15日(土), 22日(土)

時 間 14:00~15:30

受講料 3000円(3回/一括前納)

※パスポート会員は1500円

会 場 太田記念美術館 地下視聴覚室

定 員 50名(先着順)

申込方法

下記申込書に必要事項をご記入の上、聴講料を添えて現金書留にて郵送されるか、直接太田記念美術館までご持参ください。受付は定員になり次第締め切ります。

太田記念美術館 江戸文化講座 申込用紙

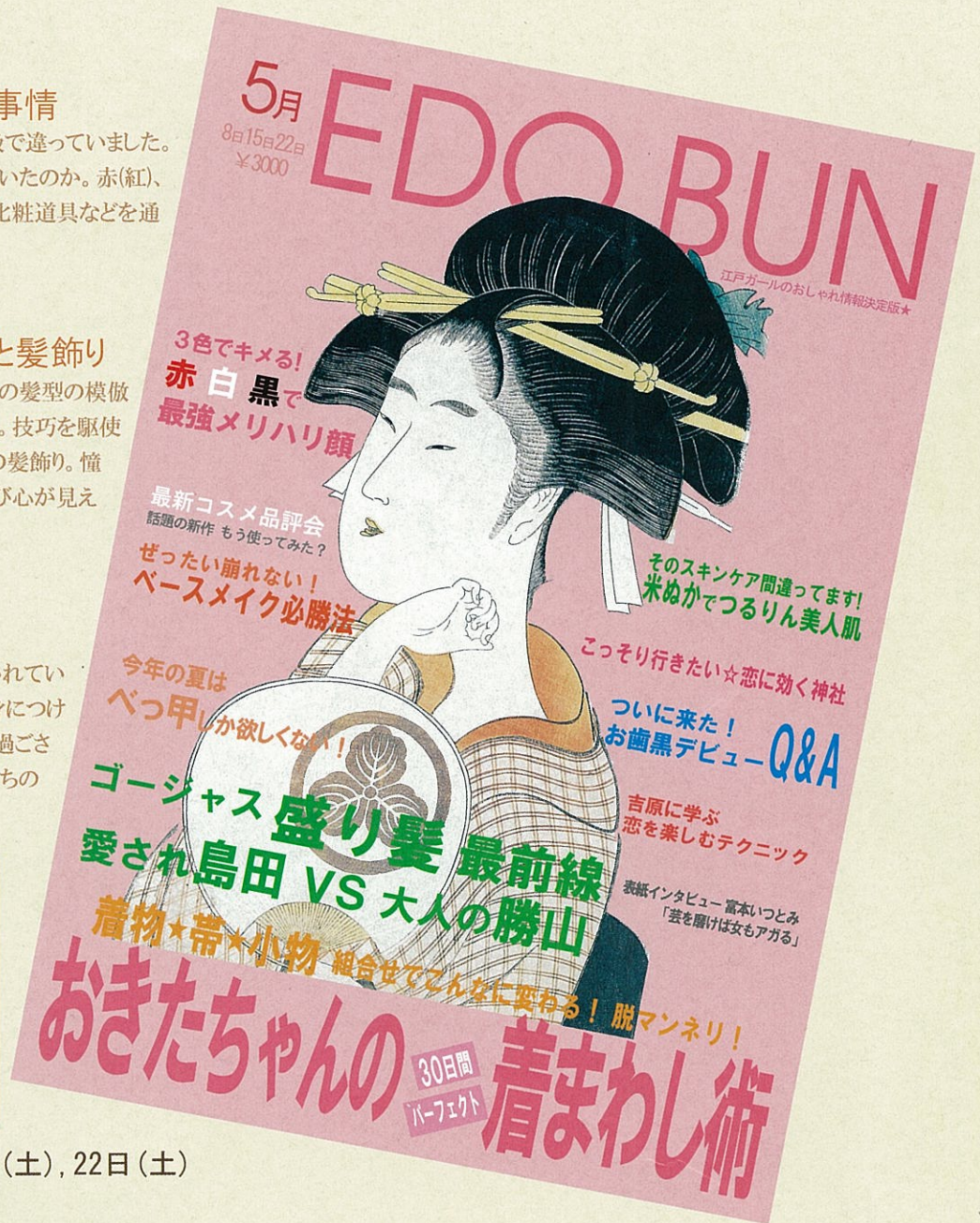
氏名 _____

住所 _____

電話 _____

E-mail _____

職業 _____ 性別 男 ・ 女



開館時間... 10:30 ~ 17:30 (入館は17:00まで)

休館日... 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日休館) 4/26-4/30, 5/27-5/31(展示替えのため)

アクセス... JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分
地下鉄千代田線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-10-10

問合せ 03-5777-8600

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

浮世絵 太田記念美術館
UKIYO-E OTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

